

令和7年度 瀬戸内タウンミーティング意見交換要旨（中央公民館）

令和8年2月28日（土曜日）

午後2時～午後4時

中央公民館（邑久）1階研修室

参加者：男性 9人、女性9人 合計18人

★意見交換要旨★

- ・市役所前の道路沿い、郵便ポストの近くにあるガラス戸の掲示板は何を掲示しているかわからない。説明があってもいいのではないか。また、いい場所にあるので市のプロモーションとしての使い方を考えてみたらどうか。

（市長）

告示や公示送達 of 文書など法的な文書を掲示している場所なので、自治体側ですぐ取り払ったり使い方を変えたりできないと思うが、市役所前の使い方については、現在市は官民連携を進めるという基本方針なので、民間事業者が広告を設置したいという希望や提案があれば、活用してもらいたいと思う。

- ・数年前ゆめトピア長船に行ったとき、事務所が本庁へ移転したことや休館について詳細なお知らせの掲示がなく、不親切に感じた。

（市長）

その当時ご不便をおかけして申し訳ない。市民の皆さんに向けたお知らせや表示方法などは、誤解が生じないように努めなければならないこと。お気付きのことがあればいつでも市に連絡いただくとありがたい。

- ・本庁舎近辺にビジネスホテルを作してほしい。ビジネスホテルがないので宿泊先を案内するとき、岡山市など近隣市を案内している。
- ・焚き火が多い。煙の臭いが干している服に付き、火災にもつながる。たばこのポイ捨ても多いので抑止のためにしっかり啓発してほしい。
- ・グリーントウンに住んでいる。300mほどの遊歩道がある。邑久町豊原の方まで延伸できないか。
- ・邑久町百田の踏切は道が狭くて交通が不便。こういった市内の通勤や通学で不便になっている道路を整備してほしい。

（市長）

ビジネスホテルについては、市の財政で誘致するということとは別に、民間のホテル

事業者にぜひ瀬戸内市に来てくれないかと営業活動はしている。採算が合わないことや、ホテルができて周辺に飲食店などがいないことなどからお断りされる。市内の飲食店などを充実させる取り組みとあわせて、継続して営業活動はしていきたい。

焚き火は同じく懸念している。焚き火そのものを禁止する法律がないのでやめるようお願いすることしかできない。燃やしたい人も多くいるので、難しい問題だと思う。

遊歩道や道路の整備については、市内全域からたくさんの要望をいただいている状況なので、担当部署で集約したのち、優先順位を付け取り組んでいる。今年で言うと、約1,000件の要望があり、約半数が対応済みとなっている。要望は、個人ではなく地域の自治会・町内会で意見をまとめて、地域の要望として提出いただけるとありがたい。

- ・だんじりなど地域の祭りの担い手が減ってきた。若い担い手が必要だと感じる。

(市長)

担い手がいないと継続できない。価値観の多様化の中で次の世代の人たちに支持されるコンテンツとして磨いていかないとなかなか継続は難しい。市としてできることがないか常に模索していきたいと思っている。

- ・JR大富駅前整備の今後の構想はあるか。

- ・外国人観光客を増やすために、また、外国人観光客に喜んでもらえるようにどのような取り組みをしているか。

(市長)

大富駅周辺は、現段階で特段公表できることはない。大富駅前に市営駐車場がないという声をいただくが、なかなか土地がない。すぐには着手できない部分もあるが、引き続き大富駅周辺の整備について検討していきたいと思っている。

外国人観光客は、特にフランス人観光客に刀剣の文化の人気の高い。今年からは、フランス・パリを拠点とするLVMHというルイヴィトンなどの有名ブランドを傘下に持つグループの役員が備前長船刀剣博物館の名誉館長に就任してくれるなどフランスとのつながりがあり、毎年フランス人観光客の来館者数は右肩上がりになっている。

ツアー客へは市のフランス人国際交流員と博物館のイギリス人職員が展示内容や刀剣の魅力を外国語で説明を行っており、満足いただきリピートにつながっている。

市は、海外での日本刀や須恵器といった美術工芸品の販路拡大や、海外で瀬戸内市への観光ツアーパッケージを開発してもらえよう旅行代理店にアプローチするなどの取り組みを進めている。

- ・イノシシやシカ対策で金網などを設置しても、地域の高齢化などにより定期的にメンテナンスする人手が足りない。
- ・太陽光発電設備などの補助金があるが、蓄電池は、太陽光発電設備に附帯設備として

- 申請する場合のみ補助対象となっている。蓄電池単体で補助金の対象にできないか
- ・市のワンコイン検診の検査項目を増やしてほしい。
 - ・高齢化や世帯数の減少で神社の修理費を地域の人のみで負担することが困難になってきた。市から補助金を出せないか。
 - ・牛窓に海の見える高齢者の保養施設を誘致してはどうか。県外からも利用したい人が来ると思う。

(市長)

様々なご意見をいただきありがたい。鳥獣被害対策については、来年度の予算で箱わな1基を上限とした補助金を交付する予定。地域の皆さんの力もあり、5年前に比べてイノシシやシカの捕獲頭数は約2倍となっており、被害金額も減少し、市内の鳥獣被害対策は善処している。引き続き、市が支援できることについて検討していく。

蓄電池についてのご意見も頭に入れて今後の取り組みの参考とさせていただく。

国民健康保険のワンコイン検診などの事業は、いただいた保険料で収支を賄うのが原則。市の国民健康保険特別会計の財政状況は、積立金を切り崩して運営する厳しい状況が続いており、来年度は岡山県の方針に合わせた料金改定を行う。医療費がどんどん上昇し、加入者一人当たりの保険給付費が増加傾向にある。こういった状況でさらに保険料を上げてサービスを充実させることが適切かどうかは慎重に考える必要がある。

神社の管理をはじめ、高齢化や人手不足に起因する地域課題に係る要望は市内全体から寄せられる。皆さんの声をふまえながら考えていきたいと思う。

保養施設は、民間需要があるかどうかのポイントだと考える。民間需要があるかどうかは、福祉施設の運営事業者の方などに話をいただきながら考えていきたい。

- ・ほかの自治体で副業・兼業を認めているところはあるのか。
- ・市が認める副業・兼業の具体例は何か。

(市長)

県内では瀬戸内市が初めてだと認識している。原則許可する方針としており、具体的な例としては、部活動の地域移行にあわせて地域でスポーツ指導をすることや、個人で飲食店などを営業するといったことが挙げられる。市内に飲食店が少ないという声をいただくので、副業・兼業で取り組んでもらえる人は歓迎したい。

このような特色ある取り組みを進めることで、就職活動をしている人に、自分の意思決定で色々な仕事ができそうだと感じてもらい、市の職員採用に多く応募してもらえるような体制づくりをしていきたいと考えている。

- ・遊び場環境、子育て、教育という視点から、瀬戸内市も「おもちゃ美術館」を作ってはどうか。市立美術館の企画展で一度開催してみて、利用された人の反応を見て実現可能か考えてもらいたいと思う。

(市長)

過去に市立美術館で開催したトリックアート展は、これまでで最も入館者数が多かった記録があるので、担当部署に共有し検討したいと思う。

- ・瀬戸内市の学力テストが県内トップとのことだが、この結果が今後も継続されるようにしてほしい。
- ・塾ではなく義務教育で学力の水準を上げられるように、優秀な外部講師を招くなど質の高い教育を受けられる機会が増えればいいと思う。

(市長)

学力テストについては学年によって差が出ることもあるようだ。教職員については、前提として、小・中学校の教職員採用や職員の配置先は県が実施し決定しているので、市がコントロールできない。今後も順位が下がらないような施策として、教育指導方法や知見のシェアを全学年、他の学校にも浸透できるように進めてもらっている。

市内に学習塾を誘致しようと思っても、利益につながらなければ誘致もできない。来年度から、3千円の学校外教育バウチャーを配布する予定。オンライン学習サービスなどを利用できるようにして、全員が学べる機会を得られる環境の整備を進めていく。

- ・若い世代が就職で市外に出て行かないようにする施策は何か考えているか
- ・瀬戸内市は農業も盛んだが、農業施策はどうなっているか。都市計画と同時に農業振興地域を作っていると思うが、農業の振興も並行して行う必要があると思う。
- ・市長の描く30年後の瀬戸内市のビジョンは何か

(市長)

一番に力を入れているのは企業誘致。最近も邑久町山田庄に大手耐火物メーカーの工場が完成し稼働し始めた。来年度からは組織内に企業誘致の専門部署を作るので、さらに力を入れていく。

市内の土地をどのように利用していくかは、これからの1年間をかけて検討する予定でいる。農業振興について、今後開催される予定の都市計画案に関する地域での説明会などで、様々な立場の意見をいただきながら考えていきたいと思っている。

これから始めようとしている施策はうまくいくかもしれないし、全部失敗する可能性もある。まずは短期目線で様々な仮説検証をし、その結果得られるデータの分析をしながら、未来へ向け軌道修正をしていく。30年後について現実的に考えると、日本全体で人口減少が進むなかで、瀬戸内市の人口も減少していくと思う。こういった状況を見据えつつ、計画は現実的に、施策は未来志向で進めていく。まずは移住を獲得するために関係人口の増加を目指し、未来への投資に力を入れていく。